

平成20年度市政懇談会での意見と回答

■行政改革

意見等の内容	回答	担当課
<p>・合併から2年7カ月を経過した中での市政懇談会は遅きに失した。市長は就任時に「八木町は南丹市の玄関口」といわれたが改善される兆しが無い。支所職員が4分の1に減るなど、緩やかな合併どころか急激な合併となっている。</p>	<p>・確かに合併時には、支所に重きを置いた体制でしたが、実際の行政運営において多くの課題が生じ、効率的な体制とするため見直しをしました。</p>	<p>総合政策課</p>
<p>・不要不急の外郭団体を整理すべき。女性の館の基金は一般財源化して他の事業に使うべき。公社等の外郭団体は、独立採算制で運営すべき。</p>	<p>・外郭団体などが対象となる改正公益法人制度が平成20年12月1日に施行される予定で、移行期間は5年間となっています。南丹市としても、この5年間で対象とならない団体も含め、独立採算を基本に連携を進めます。 ・園部女性の館管理運営基金については、女性の館の管理運営に必要な財源を確保し、円滑な事業の実施を図るため設置をしたもので、今後の施設の維持管理及び講座開設に伴う事業費に毎年基金を取り崩し、充当を行うとともに、将来の施設の大改修に備えたいと考えますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p>	<p>総合政策課・市民課</p>
<p>・公営住宅も民間にまかせるべきで税金は使うべきではない。</p>	<p>・公営住宅について、管理・運営を直営とするか、委託も含めて指定管理で行うのか考える必要があると考えています。行政がやらなければならない範囲も一考します。</p>	<p>住宅課</p>
<p>・健康保険証の切り替えで、古い保険証の返還に際し家族人数分の返信用封筒が送られてきた。まとめれば経費の節減になるのではないか。</p>	<p>・保険証の送付については、個人情報保護の観点から家族であっても個別に送付しています。返信用封筒についてもそれぞれ同封しています。保険証を家族分まとめて返信していただく際、余分の返信用封筒を同封していただければ行政としても助かります。経費節減できる部分については、今後も取り組んでいきますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>国保医療課</p>
<p>・行財政改革の説明で、「合併で生じた不均一の解消や受益と負担の均衡」とあるが、4町一緒になっている今、不均一が生じているものはないものがあるのか。</p>	<p>・合併で生じた不均一の解消について、水道料金などは合併協定時に「5年以内に統一する」などの約束事項であり、そういったものを整理することも近々に行います。</p>	<p>総合政策課</p>

<p>・財政が厳しいというが、今あるものをどのように活用するかが大事。公共施設の利用がないこと等、無駄が多い。自分のところから見直すべきである。</p>	<p>・4町それぞれに類似施設があり、合併後も市の施設として運営しており、公の施設が多いことは事実です。機能が重複している施設や利用の少ない施設、利用者が限定されている施設については、整理統合や譲渡を含めた見直しを進めます。</p>	<p>総合政策課</p>
<p>・職員の給与水準は府下でワースト2であるが、更に人件費を削減する計画か。この一年間で3回の大きな人事異動があり、新しい課もできた。異動でこれほどコロコロ変わるのでは職員も不安ではないか。</p>	<p>・効率的・効果的な行政運営を進めていく上で組織機構は重要であり、本庁と支所の人事交流も含め、計画的な人事異動を行いました。</p>	<p>人事秘書課</p>
<p>・南丹市の職員数は14市の中でも多い。ラスパイレース指数が低いということであったが、職員数を減らして給与水準を上げるといった方策を考えるのか。 ・人件費の削減について、人員削減を考えるのか、ラスパイレース指数の引き下げで考えるのか。</p>	<p>・平成19年4月に南丹市職員定員適正化計画を定め、定員規模の適正化に努めています。また、職員給与については適正な給与制度・運用に努めています。</p>	<p>人事秘書課</p>
<p>・27名もの市会議員は必要か。400余名の市役所職員が必要か。副市長が二人も必要か。</p>	<p>・議員それぞれの立場で活動をされており、必要と考えています。 ・厳しい財政状況の中で人件費の抑制を図るため、平成19年4月に南丹市職員定員適正化計画を定め、定員規模の適正化に努めています。 ・現在それぞれの分担で任務を担っており、必要と考えています。</p>	<p>議会事務局・人事秘書課・総合政策課</p>